

	2019年実績値 (中計1年目)	2020年目標値 (中計2年目)	2021年目標値 (中計最終年度)
連結売上高	449億41百万円	462億00百万円	506億円以上
連結営業利益	11億94百万円	13億50百万円	17億円以上
ROE	5.4%	4.4%	5%以上

3つの領域	2019年の主な活動
世の中にないものを創出します	<p>【食品事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オメガ3脂肪酸に着目し、健康に貢献すべく粉末油脂のさらなる機能向上と検証を推進 ・植物油をベースに独自の香味技術により従来のラードに替わるおいしさを追求した製品を開発 <p>【油化事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規製紙用薬剤は実験室での開発が終了し、実地検証を推進中 ・高波長領域の紫外線防止効果を高める紫外線吸収剤の販売開始、機能性溶液のイオン液体は一部分野で顕微鏡可視化剤として実用化を開始するとともに他用途展開にて実証実験を継続
既存市場へ新たに参入します	<p>【食品事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・粉末油脂のさらなる活用として冷凍食品（フライ食品の衣）や乳製品の代替として飲料への販売を拡大 ・リテールベーカリー業界に向けてコンパウンドバターオイルの販売開始 <p>【油化事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境負荷低減基材として生分解性樹脂分散体の拡販を推進 ・農業分野では、土壌改良剤（土のオアシス）の全国販売開始
さらに拡売します	<p>【食品事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パンやお菓子のおいしさを底上げする焙煎風味のマーガリンの販売開始 ・パン製造の効率化を推進するために冷凍生地品質改良剤の販売開始 <p>【油化事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クレンジング基材やシャンプー・ボディソープ向け原料をはじめ、ヘアケア・スキンケア向け製品の販売が伸長 ・家庭紙製品向け製紙薬剤の販売ならびに環境改善関連向け薬剤の海外展開により、販売が伸長

2. 更なる成長に向けた取り組み

続く未来へ、続く企業へ。

私たちミヨシ油脂は、2019年～2021年の中期経営計画を「2030年のありたい姿」実現のための基盤構築期間と位置づけ、更なる成長を目指すため、「人によし、社会によし、未来によし」という経営理念のもと、環境(Environment)、社会(Social)、ガバナンス(Governance)の3要素、いわゆる「ESG」を重視した経営を推進してまいります。具体的には、国連の持続的な開発目標「SDGs」に事業活動を関連づけ、環境問題、社会問題、人権問題などの解決に寄与していきます。私たちはこれを企業の責務とは考えず、むしろチャンスとして捉えています。SDGsに向けた取り組みを中期経営計画の中に取り入れ、新たな製品やサービスを生み出すことによって、自社にイノベーションをもたらします。SDGsの目標を達成するためには、まだ足りない部分もありますが、逆に企業としての「伸びしろ」がそこにあると考えています。持続的な社会の構築なくして、弊社の永続的な発展はありえません。企業としてはもちろん、社員一人ひとりがSDGsのゴールである2030年に向けて何ができるかを考え、全社を挙げて取り組んでいきたいと思っております。

(注) 本資料に掲載されている将来の見通しに関する事項については、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、将来の業績を保証するものではなく、実際は今後の様々な要因によって変動する可能性があります。

以 上